



福岡県小郡市大板井1143-1
電話番号 0942-72-7221
FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>

就労継続支援B型事業所 Smile Work の活動をご紹介します！



この他、生活スキル学習にも取り組んでおり、8月～10月は健康管理について学びました。生活リズムのチェックや、体力測定を行い、自分の食習慣について見直したり、栄養の取り方を勉強しています。食べ物の成分表示を見て、考えて選ぶことを知り、食生活への関心が高まりました。今後は挨拶や身だしなみ、金銭管理などの学習会を行う予定です。色々な知識を得ることで自分自身のことを考える良い機会となっています。

企業の委託作業や手芸品作り、クッキー作りを行っています。特に「クッキー作り」は、Smile Work が始めて以来続けています。クッキー作業には、完成までに様々な工程があり、生地作りは分量も多く力のいる作業です。型抜きや焼き作業、袋詰めなど、利用者の方々の協力しながら進めています。地域の方にも知っていただけるよう、小郡市の道の駅「宝満の市」で販売しています。今後は買い物学習を兼ね、「宝満の市」へ出かけることも考えています。自分たちが作ったクッキーが地域の方の商品と同じところに並んでいるのを見て、自信ややる気に繋がってくれる事を願っています。

(職業指導員 別府)

理事長就任にあたって



理事長
佐藤 英二

平素より当法人の運営につきまして、関係各位の皆様、利用者の保護者の皆様にはご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

令和3年6月の理事会におきまして前大熊理事長の後任として理事長を拝名し、その重責に身の引き締まる思いですが、理事長就任にあたりご挨拶申し上げます。

まず初めに、大熊前理事長におかれましては、昭和57年（1982年）に当法人を設立し、この度理事長を退任されるまでの39年間、長きにわたりご尽力を頂きました。これまで当法人の運営、発展に多大な貢献をなされたこと、心より敬意と謝意を表します。今後は当法人の会長として、引き続きご指導を頂けること、併せて感謝申し上げます。

当法人は、設立当初より「地域と連携した医療・福祉・教育の総合療育推進」を目指し、「発達に課題をもつお子様の相談・支援の場」として活動を続けてきました。現在は、

障がい者の生活介護事業や就労支援事業を通して、「乳幼児期から成人期までの、一貫した支援・継続の場」という考えのもとに幅広い事業に取り組み形となっております。

今後、これまでの運営方針に基づいた支援活動により、法人の永続的な発展を通じ、地域社会の発展に貢献することができるよう、各事業の連携、職員のスキルアップ、組織の強化を図ることで、利用者の皆様に満足いただける福祉サービスの提供を行なっていきたいと思っております。

当法人は、設立当初より療育事業の担い手として活動し、支援サービスのノウハウ、経験、専門的スタッフを有する実績のある法人です。今後も引き続き、これまで培ったノウハウと運営基盤を生かし、運営の安定性をさらに強化することと同時に、将来を見据えた革新性、創造性を両立した法人運営を進め、それを通じて全ての職員が良質なサービス提供に専念できる組織づくり、働く環境づくりに向けて精一杯努力してまいります。「心を開き、信頼で結ばれる」というこぐま学園でありたいと思っております。

今後とも、変わらぬご愛顧、ご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



心の窓



外来
優希さん

私は今、12歳です。人生のほとんど、このこぐまに通っています。

私は、体重1195グラムで生まれた未熟児でした。今でこそ元気に生活していますが、当時は肺ができておらず、危険な状態だったといえます。呼吸ができないので、酸素不足に陥り車椅子の生活になりました。

私がこぐまに通い始めたのは9ヶ月の頃。もちろん覚えていません。物心ついた時にはここにいたのですね。覚えていて、というより自分にしみこんで習慣になっていて、という方が正しいかもしれません。マットの上でごろごろし、介助されながら歩いて部屋に向かうのも、何回したでしょう。数えきれないほど練習してきました。

小さい頃は毎年、夏祭りに行きました。最後の花火を観るのが好きだったのを覚えています。

今、私が書いているこのコーナーが、「心の窓」ということで、私の窓はどんな感じだろう、と考えてみました。私の窓は、いつでも開け放つ

ておきたいと思っています。私は人と関わる事が大好きです。だから、周りの人が窓を閉じていても、自分の方だけは窓を開いておきたいと思っております。

初めての本人執筆ということですが、分らなかったところも多かったですが、結びに、これまで私と一緒にリハビリを続けてくださった山下先生や他の先生方、これまでありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

本人が書きたいと言ったので書いてもらいました。双子の妹を亡くし姉のこの子は脳性麻痺、自分は両手腱鞘炎。どうやって育てたらいいか全くわからない状態でした。道具の工夫をしたり、家で取り組むことを考えたり、親である自分を育てていただいたと思っております。

こぐまの好きなところは名前を覚えて呼んで下さるところ。家族で楽しめる企画をして下さるところ。お忙しいだろうに演し物は新作、カレーもお餅もおいしいし、様々なことを体験させることができました。一つ一つに愛情を感じています。いつもありがとうございます。

（優希の母）





みんな がんばりました!

ゆっ・はぐ・ころくま運動会
昨年度はコロナ感染拡大により実施できなかった運動会。今年こそは日々の子どもの成長や笑顔をおうちの方に見ていただきたい!子どもたちに行事の雰囲気を経験してもらいたい!と思い計画を立てました。
感染症拡大防止のためにご家族の参加人数制限をお願いし、グループごとに分散開催となりましたが、子どもたちや家族の方の笑顔をたくさん見ることができた運動会となりました。
(保育士 古賀)



メダル嬉しいな♪



良かったら皆さんもチャレンジしてみてください。

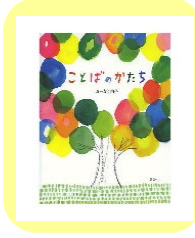


**前屈テスト♪
柔軟性を測ります。
何センチかな?**



スポーツの秋

**いす座り立ちテスト♪
何秒耐えられるかな?**



言葉に関する事で、私が大切にして
いる本を紹介します。おーなり由子さん
の「ことばのかたち」という絵本です。
もしも言葉に形や色があつて目に見え
るとしたら?花束や大きな森など、水彩
画のかわいらしい絵が添えられていま
すが、針のような言葉が口から飛び出
し、相手が傷ついている場面が見えた
ら・・・とドキッとさせられる場面もあ
ります。自分が発する言葉はどんな形を
しているのだろうと想像し、相手に対す
る言葉の選び方を考えるきっかけにな
る一冊です。読書の秋。よかったら、ぜ
ひ、皆さんも手にとって読んでみてく
ださい。

皆さんは「ふわふわ言葉」「ちくちく言
葉」という言葉をご存じですか?「ふわ
ふわ言葉」は相手(自分)が喜んだり・
幸せになる言葉、「ちくちく言葉」は相手
(自分)が傷ついたり嫌な気持ちになる
言葉のことで、学校の道徳の授業等でも
使われているそうです。「ふわふわ」は、
包み込まれるような優しい印象を受け、
「ちくちく」はとげとげしい痛さを感じ、
よく表されているなあと感じました。

こぐまLINE



**看護師
いのうえ
井上**

新入職員研修

こぐま福祉会では、新しく入職した職員に向けて研修を行っています。理事長の法人理念に始まり、医師や専門職からの講義は支援を行う上での基礎となります。

今年度は6月から開始し、月1回6名の職員が参加しています。日々の業務に活かしていきたいという参加者の意欲が伝わってくる研修会になっています。

こぐま福祉会では、利用者の皆様により良い支援ができるよう今後も研修会を行ってまいります。

(職員研修委員 宇野)



放課後等デイサービス ……活動報告……

選択活動
ボーリングを
選んだよ!



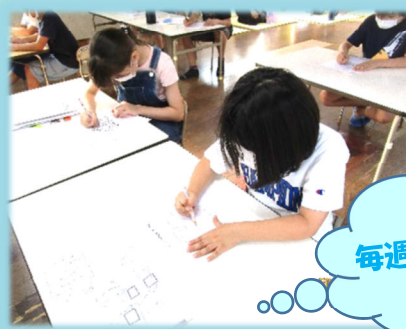
木工作业
みんな真剣!



ペットボトルロケット
遠くまで飛んだよ!



めいろ
毎週頑張っているよ!



行事予定

- 11月**
 - 5日(金) はぐ・しろくま・ゆう マラソン大会
- 12月**
 - 6日(月) 避難訓練
 - 28日(火) 大掃除のため休園
Work Step・smile workのみ開所
 - 29日(水) ~ 31日(金) 年末休暇
- 1月**
 - 1日(土) ~ 4日(火) 年始休暇
 - 5日(水) 療育開始 鏡開き
 - 20日(木) 避難訓練



新人職員紹介

- ・中川 なかがわ 祐佳 ゆか (生活支援員)
- ・堀川 ほりかわ 真澄 ますみ (送迎バス添乗)

※入職順
よろしくお願ひします♪